

平成24年2月

井上誠也 学位論文審査要旨

主 査 佐 藤 慶 祐
副主査 渡 邊 達 生
同 武 中 篤

主論文

Hydroxyfasudil ameliorates bladder dysfunction in male spontaneously hypertensive rat

(オスの自然発症高血圧ラットの排尿筋過活動に対する塩酸ファスジルの有効性)

(著者：井上誠也、齊藤源頭、武中篤)

平成24年 Urology 掲載予定

審査結果の要旨

本研究は自然発症高血圧ラットに、血管拡張作用薬の塩酸ファスジルを投与し、膀胱血流および排尿筋過活動の関係を、膀胱機能検査および血流測定により検討したものである。塩酸ファスジルの投与により、排尿回数の減少、排尿間隔の延長、膀胱コンプライアンスの増加、非機能性膀胱収縮の減少、膀胱組織中NGFの低下ならびに膀胱血流の増加を認めた。一方、全身血圧および膀胱ROCK活性には変化を認めなかった。この結果は塩酸ファスジルの効果は膀胱平滑筋への直接的な作用よりも、血管平滑筋の弛緩作用による膀胱血流の増加のため、排尿筋過活動が改善したことを示唆するものである。本研究の内容は、過活動膀胱に対して、膀胱血流の増加による症状改善の可能性を明らかにし、泌尿器科分野において明らかに学術の水準を高めたものと認める。